（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ふれあいみらいキッズ

公表日　2026年　10月　30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・公園に行くなど工夫しているようです ・スペースは小さめ。多動の子が多いため公園へ行き発散させている。 ・縦割りなので住みわけが出来ると良い。 ・興奮している児童のクールダウンできる部屋、場所	・パーテーションによる区切りの活用や騒音等への対策 ・近隣公園へのおでかけの機会を増やす
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	・トイレ介助などの時にスタッフが足りないと感じることもある。 ・現状のリソースでできるところまで	・トイレ介助や手厚い支援を要する利用状況に合わせて現場の人員体制を柔軟に強化できるよう、さらなる職員配置の工夫に努める
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	・バリアフリーではないため有事の際に懸念がある。 ・バリアフリーがない	・折り畳み式バリアフリーの採用の検討
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・月に一回程度プロの清掃が入ればよい	・職員間で当番制などを採用し、5Sを意識した事業所作りを行っていけるとよい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	5	・個室がない。指導やクールダウンを個別に行えない。 ・個別の部屋がない ・個室はあるが、個室の入り口にカーテンなどがあるとさらに良いと思う。	・専用の個別部屋はないが、カーテンやパーテーションを活用し、子どもが落ち着いて過ごせる個別スペースの確保と環境整備に努めている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・わからないです ・業務改善を行おうとしても、今までのやり方に固執する人が多い。	・MTG等を通じて目標の握り合いを行い、それに対してどうしていくかをチームで考えるようにする
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		・来所された地域関係機関の各職種からの意見聴取 ・外部の視点を取り入れた開かれた事業所づ
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	5	・研修が滞っている	・様々な研修を早々に企画し、行っていく
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3		・支援会議や夕礼等でこまめに情報共有、支援のすり合わせを行っている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	3	3	・計画書を読まない人もいるため、業務の進め方を変える必要がある。 ・支援計画の内容の浸透 ・支援計画がファイルで事務室に共有されており、いつでも確認がしやすいと思う	・計画書の浸透をはかるため、利用児童のファイルを朝礼で確認する仕組みを作る
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・一人一つは提案してもらうようにしている。 ・少し属人化がある ・前の事業者さんのものをそのまま使っているのではないですか。	・職員がそれぞれ活動を立案し、担当運営まで行い、属人的にならないようにする

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・考えるのは大変だが、やりがいはある ・前の事業者さんのものをそのまま使っているのではないですか。	・5領域を意識した活動を行っている ・今後個別療育も強化していけると良い
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・朝打ち合わせファイルを使用しながら確認しており、いいと思う。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	1	・送迎後や子どもが帰った後にスタッフに子どもの様子を聞くようにしている。 ・夕礼にて毎日支援内容が振り返られており、いいと思う。	・必ず夕礼にてその日の児童の様子や出来事を共有するようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	・日々の夕礼	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	・利用者が気になる活動を好きに申し込めるようにはしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		・関係機関連携の機会を増やしていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		・現状該当児童は少ないが、該当児童が来た際には行っていけると良い
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	2		・現状機会を作れていない為、研修を含め専門的な助言を受ける体制づくりを検討中。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・公園遊びでの地域の子どもとの交流はある。	・公園遊び等での地域の子どもとの自然な交流はあるが、今後はより計画的に児童館や児童クラブ等に出向く活動も企画していきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・連絡ノート(電子)にて保護者と連携して共通理解を持てていると思う。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・家族と交流する機会はない	・現在、家族向けの勉強会や研修の機会は十分に設けられていないため、今後はペアレント・トレーニングや情報提供の機会づくりを検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2	・機会は提供しているが、参加には結びつかなかった。	・交流の場（保護者会や懇談会）の開催・案内を行ったが、なかなか参加につながらなかったため、今後は開催方法や内容の工夫を検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・ブログやインスタグラムの更新をしている。その際は、見る人が分かりやすいよう、活動の狙いを書くようにしている。 ・連絡ノートやインスタグラムにて、活動などがよく共有されており、発信できていると思う。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		・現在は地域住民の行事への直接的な招待等は行えていないため、今後は地域清掃などの活動を企画して地域交流などを検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	・ヒヤリはあるが、書き込む人が少ない。周知の必要性。 ・今後より書きやすいものに変えられると良い。 ・ヒヤリハットファイルがあり、良いと思	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2		